

優れた塗膜性能で
防水層を確実に保護します。



環境配慮タイプ
鉛・クロムフリー、RoHS対応、
13VOCフリー、低VOC、
超低臭タイプ

「ルーフガード遮熱」「ルーフガード」は、加硫ゴムシート、アスファルト系防水材の化粧・保護塗料として開発した合成樹脂エマルジョン塗料です。付着性、耐久性に優れ、施工も容易。新設、メンテナンスの防水仕上げに最適です。従来製品「ノンリークコート」の特長を生かしつつ、付着性と伸縮性を向上させました。

特長

1

環境に配慮した塗料です。

水性塗料で臭気も少なく、ホルムアルデヒドの放散等級F☆☆☆☆を取得しています。また、厚生労働省「シックハウス対象物質に関する指針」にリストアップされている化学物質や「鉛」「クロム」を含有していません。

3

作業性に優れ、シックな艶消しの仕上がりが得られます。

1液性で低粘度のため、取り扱いが容易であり、作業性に優れています。また、シックな艶消しの落ち着いた仕上がりが得られます。

2

抜群の付着性を維持し防水層を長期にわたり保護します。

各種シート防水層への付着力が強く直接塗装できます。塗膜に伸縮性があるため、クラック追従性に優れています。また、耐候性、耐摩耗性、耐水性に優れているため、防水層を長期間にわたり保護します。

4

「ルーフガード遮熱」は高い遮熱性能を発揮します。

「ルーフガード遮熱」は優れた遮熱性能で防水層を保護します。高い日射反射率で、ベランダや屋上の表面温度の上昇を軽減します。

用途

- 加硫ゴムシート防水材の化粧・保護
- 砂付きルーフィング材の化粧・保護
- アスファルトシート防水材の化粧・保護
- アスファルトシングル材の化粧・保護

※「塩ビシート防水」および「ウレタン防水下地」には塗装できません。

標準色

●色見本は紙に塗装しておりますので、実際の施工とは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。

ルーフガード遮熱

【フラットタイプ】



▲シルバーグレー



▲グレー



▲マイルドグリーン

【骨材入りタイプ(防滑タイプ)】



▲シルバーグレー



▲グレー



▲マイルドグリーン

ルーフガード

【フラットタイプ】



▲グリーン



▲ブラウン



▲オーカー

【骨材入りタイプ(防滑タイプ)】



▲グリーン



▲ブラウン



▲オーカー



▲シルバーグレー



▲グレー



▲シルバー



▲シルバーグレー



▲グレー

●本色見本帳のPDF版をカラー出力された場合、この色見本帳に掲載しています標準色とは、著しく色の相違があります。PDF版のカラー出力やパソコンのモニターをご覧になってのご注文はお受けできません。標準色の指定、選定、ご注文は必ず現物の色見本帳をお願いします。

製品情報

	製品名	タイプ	色相	荷姿	塗装方法	希釈量	希釈剤	可使時間 (23℃)
下塗り	NTゴムシートバインダー※1	—	クリアー	6kgセット (主剤:4kg、硬化剤:2kg)	●刷毛 ●ローラー	無希釈	—	1時間以内
上塗り	ルーフガード遮熱 (遮熱タイプ)	フラット	標準色3色 (特注色不可)	15kg	●刷毛 ●ローラー※2 ●スプレー	0~1.5kg	水	—
		骨材入り	標準色3色 (特注色不可)	18kg	●刷毛 ●ローラー※3 ●リシンガン ●ゴムゴテ	0~2.7kg	水	—
	ルーフガード (一般タイプ)	フラット	標準色6色 (特注色可能)	15kg	●刷毛 ●ローラー※2 ●スプレー	0~1.5kg	水	—
		骨材入り	標準色5色 (特注色可能)	18kg	●刷毛 ●ローラー※3 ●リシンガン ●ゴムゴテ	0~2.7kg	水	—

※1:既存防水層のトップコートが劣化して加硫ゴムシート層(黒ゴム)が露出して、激しくチョーキングしている場合は下塗りとして「NTゴムシートバインダー」をご使用ください。また、下地の凹凸や勾配によって水の溜まりやすい箇所は剥離が生じやすくなります。そのような部分は、下塗りとして「NTゴムシートバインダー」をご使用ください。NTゴムシートバインダーの加硫ゴムシート上での使用量は0.1~0.2kg/m²、次工程までの施工間隔は3~24時間(23℃)です。

※2:ルーフガード遮熱・ルーフガード(フラットタイプ)の推奨ローラーは「Wonder(15mm)」「ウレタンくん(11mm)」「大塚刷毛製造(株)製」です。推奨刷毛は「銀助」「タフシリス」(大塚刷毛製造(株)製)です。

※3:ルーフガード遮熱・ルーフガード(骨材入りタイプ)の推奨ローラーは「WAKABA(13mm)」「Micro Granda(13mm)」「大塚刷毛製造(株)製」です。推奨刷毛は「銀助」「ブラグレハード」(大塚刷毛製造(株)製)です。

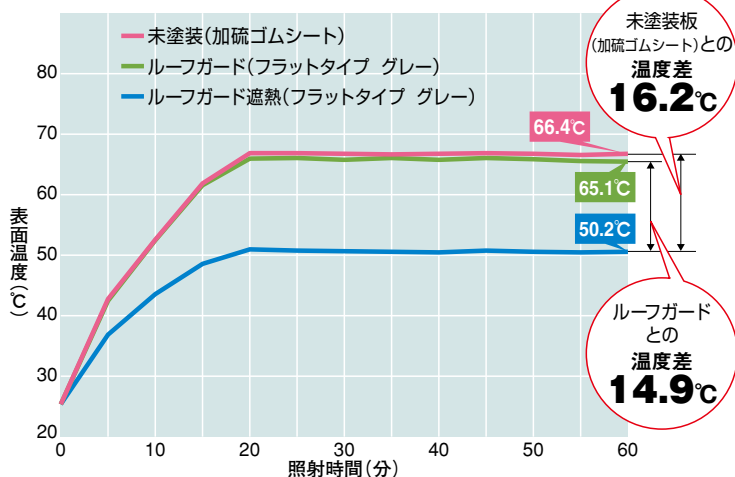
標準塗装仕様書

工程	商品名 (タイプ)	ルーフガード遮熱 (遮熱タイプ)			ルーフガード (一般タイプ)		
		加硫ゴムシート		砂付きルーフィング	加硫ゴムシート		砂付きルーフィング
		フラット	骨材入り	フラット	フラット	骨材入り	フラット
素地調整		●表面のゴミ、埃、泥などは15MPa程度の高圧洗浄やデッキブラシ併用の水洗いなどで除去、清掃し、表面を充分乾燥させてください。 ●油脂が付着している場合はシートを傷めない適切な方法で除去してください。 ●被塗面にチョーキングなどの付着阻害要素がないことを確認した後、以下の工程へ進んでください。					
上塗り	使用量(kg/m ² ・回)	0.15~0.2	0.2~0.3	0.2~0.4	0.15~0.2	0.3~0.5	0.2~0.3
	塗り回数	2回	2回	2回	カラー:2回 シルバー:1~2回	1~3回	カラー:2回 シルバー:1~2回
	1缶当たりの塗り面積(m ² /回)	75~100	60~90	37.5~75	75~100	36~60	50~75
	施工間隔(23℃)	2~72時間			2~72時間		
	歩行可能時間 養生期間(23℃)	歩行可能:6時間以上 養生期間:24時間以上			歩行可能:6時間以上 養生期間:24時間以上		

※下地の状況により使用量と塗り回数は変動することがあります。ご注意ください。

遮熱性能試験 (自社試験方法)

「加硫ゴムシート」に、標準塗装仕様に従って、「ルーフガード遮熱」(色:グレー、フラットタイプ)と「ルーフガード」(色:グレー、フラットタイプ)を塗布しました。「ルーフガード遮熱」に「ルーフガード」と「未塗装(加硫ゴムシート)」を平行に並べて、試験体の上方からランプを照射し、試験体の表面温度を比較しました。



●日射反射率結果

品名	色相	日射反射率(%)※3
ルーフガード遮熱	シルバーグレー	68.0
ルーフガード遮熱	グレー	61.6
ルーフガード遮熱	マイルドグリーン	68.4
ルーフガード	シルバーグレー	33.5
ルーフガード	グレー	17.9
ルーフガード	シルバー	59.2
ルーフガード	グリーン	53.6
ルーフガード	ブラウン	55.5
ルーフガード	オーカー	42.1
加硫ゴムシート		2.7
砂付きルーフィング		17.4

※3:日射反射率は「JIS K 5602」塗膜の日射反射率の求め方に準拠し、測定した近赤外域の値です。測定結果は自社試験によるデータです。

試験項目	試験結果		試験規格
	ルーフガード遮熱	ルーフガード	
付着性	100/100	100/100	10×10マス クロスカット法
耐水性	異常なし	異常なし	水道水浸漬 30日間
耐水性7日後の付着性	100/100	100/100	10×10マス クロスカット法
耐屈曲性	23℃	異常なし	25mm φ 屈曲テスト
	-5℃	異常なし	25mm φ 屈曲テスト
耐温水性	異常なし	異常なし	60℃温水 30日間浸漬
耐熱性	異常なし	異常なし	80℃ 30日間
耐候性	異常なし	異常なし	キセノンウエザーメーター1000時間

注意事項

■施工上の注意事項

- 「塩ビシート防水」および「ウレタン防水下地」には塗装できません。
- 下地の凹凸や勾配によって水の溜まりやすい箇所は剥離が生じやすくなります。そのような部分は下塗りとして「NTゴムシートバインダー」を塗布してください。
- ポリマーセメント系防水材の上に「ルーフガード遮熱」「ルーフガード」を塗装しないでください。付着不良や剥離、エフロによる汚染が起きることがあります。
- 気温5℃以下、湿度80%以上の施工は避けてください。翌日までに降雨、降雪が予想される場合、屋外施工は避けてください。
- 貯蔵の際は密栓し、開栓後はできるだけ早めにご使用ください。
- シルバーにはアルミ系顔料を使用しています。このため、高温での保管やセメントなど異物の混入は避けてください。反応によりガスが発生する恐れがあります。
- 指定希釈剤以外の混入は絶対に避けてください。
- 塗装前には、ゴミ、泥、油分等は充分に取り除いてください。シートの窪みや不陸部分はゴミ、花粉、泥等が溜まりやすく、除去が不十分な場合、塗膜の付着不良を生じます。
- 塗装面が濡れている場合は充分に乾燥させてから塗装してください。濡れたままで塗装しますとフクレやハガシの原因となります。
- 塗膜が充分に乾燥していない時に降雨や結露などによる水分の影響を受けた場合、塗膜表面に白化や割れ、シミなどが発生する可能性がありますので施工しないでください。
- 塗装間隔(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより変わります。
- 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態や形状、施工条件、気象条件などにより幅を生じることがあります。
- 塗料は必ず規定配合比で調合し、充分に攪拌後施工してください。他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- 塗料を小分けして使用する場合は、予め塗料缶の内容物を均一になるように攪拌してから小分けを行い、秤を用いて計量して塗料の調合を行ってください。
- 塗料は調合前に電動攪拌機などで充分に攪拌してください。2液反応硬化タイプの材料、主剤と硬化剤、希釈剤は秤を使用し指定の割合で調合して、電動攪拌機などで混合攪拌してください。
- 一度調合した塗料は必ず可使時間内に使い切るようにしてください。可使時間を過ぎた塗料の使用は行わないでください。作業性、付着力の低下や仕上りなどが悪くなります。なお、可使時間は、材料温度と雰囲気温度に依存します。夏場は特に短くなりますのでご注意ください。
- 規定の塗布量が塗られていないと、塗膜性能が発揮されない場合がありますので仕様書の塗布量を守って塗装してください。
- 施工表面の温度が60℃以上の場合は乾燥が速く、乾きムラの原因となりますのでご注意ください。
- 加硫ゴム系のカラータイプシートの場合は密着力が劣るため、使用を避けてください。また、ごく一部の改質アスファルトシートでは「花咲き現象(マッドカール)」が発生することがありますので、施工に際しましては事前のチェック、または当社の営業所までお問い合わせください。
- 下地は不陸調整して水勾配を取り、水溜まりがないように事前に処理を行ってください。剥離などの不具合の要因となります。
- シルバーの塗装が終了した数日後に激しい降雨にあった場合、稀に雨どい下の雨水が泡が発生する可能性があります。これは、塗膜中にある極微量の未硬化成分によるもので、日時の経過とともに落ち着いていくため、塗膜異常ではありません。

■取り扱い上の注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合はABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中とともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスでふき取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 取り扱い後は、手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げる時には、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 蒸気やガスを吹き込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じ医師の診察を受けてください。
- 材料は必ずフタをしてください。また、雨や雪、直射日光の当たらない換気の良い場所で保管してください。その際に室温5℃以下、35℃以上にならないよう充分に注意してください。低温では凍結の恐れがあります。
- 容器は、ガス抜きキャップを使用していますので、横倒しや逆さ積みは絶対にしないでください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 「NTゴムシートバインダー」は、シンナー等の揮発性化学物質を使用しています。化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することが無いようにご配慮願います。また、消防法の危険物該当品となります。
- 「NTゴムシートバインダー」は消防法該当品ですので、取扱いや保管は充分に注意してください。
主 剤: 第四類 引火性液体 第1石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅱ
硬化剤: 第四類 引火性液体 第2石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅲ
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境を配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 本製品の取り扱い、保管については、消防法や労働安全衛生法など各種法令を遵守してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、または、安全データシート(SDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762